

平成30年度 地域連携活動報告書

協定締結日	平成29年4月24日	連携先名称	兵庫県
活動状況		連携先窓口	企画県民部 地域創生課
活動資金		担当教員(所属)	宮林茂幸（地域創成科学科）、上原巖（森林総合科学科）、穂坂賢（醸造科学科）、栗野隆（造園科学科）
活動体制（単位）		関連教員(所属)	
活動内容	●平成30年5月23日（水）：厚木キャンパスにおけるカムバックひょうご説明会の開催 兵庫県職員農学職の業務説明会と兵庫県へのUターンを進める説明会「カムバックひょうご説明会」が兵庫県と合同で開催された。参加者は8名。出身県別では、兵庫県内出身者2名、他府県出身者6名。男女別では、男子5名、女子3名。兵庫県農業の現状と本年度の兵庫県職員(農学職)採用試験、兵庫県への移住・定住に関する話題提供と学生との意見交換がなされた。 ●平成30年9月5日～8日（木～日）：「農大生向け兵庫を巡るバスツアー」の実施 本学学生兵庫県の主な産業を巡り、兵庫県での就職や移住など地域創生につなげることを目的としてバスツアーが実施された。灘五郷の酒造メーカーや県立農林水産技術総合センターなどを見学したほか、交流会も開催した。 ●平成30年10月20日・21日(土・日)：兵庫県民農林漁祭への出展 「第40回兵庫県民農林漁祭」（於：明石市）に本学が出展し、農大のPRと農大グッズの販売、校友会兵庫県支部による兵庫県内の農大卒業生の酒蔵15社の銘酒の有料試飲等が実施された。 ●平成30年12月19日・20日（水・木）：森林総合科学科・上原教授による兵庫県立森林大学校で集中講義 地域環境科学部森林総合科学科の上原巖教授が、平成29年に開校した県立専修学校の兵庫県立森林大学校の2年生に向けて森林療法に関する講義や実習など合計4コマの集中講義を実施した。 ●平成31年1月16日（水）：兵庫県への就職セミナーの実施 東京農薬大学の世田谷キャンパス、厚木キャンパスの2会場において、校友会兵庫県支部と兵庫県が合同で、兵庫県への就職セミナーを開催した。		
活動成果	●平成30年5月23日（水）：厚木キャンパスにおけるカムバックひょうご説明会の開催 上記の説明会に参加した学生のうちの2名が、兵庫県が実施した「県庁インターンシップ」（8/27～31）に参加した。2名はとも農学部農学科の3年生であり、県庁や県の出先機関での体験実習をおこなった ●平成30年9月5日～8日（木～日）：「農大生向け兵庫を巡るバスツアー」の実施 バスツアーに参加した学生の内訳は、男子9名、女子2名。国際食料情報学部食料環境経済学科9名（3年生7名、2年生2名）、応用生物科学部醸造科学科2名（3年生1名、1年生1名）、出身地別では、東京都5名、埼玉県3名、長野県・鳥取県・山口県各1名であった。学生は食品関連企業への就職希望者が多く、本ツアーが将来の就職先を考える上で大きな参考になったという成果をえた。 ●平成30年10月20日・21日(土・日)：兵庫県民農林漁祭への出展 出展の結果、200人分の銘酒の有料試飲は両日とも完売し、農大グッズの売れ行きも頗る好調であった。多くの農業高校生、県知事・副知事の訪問があり、農大の教育・研究の取り組みが兵庫県の産業と密接に結びついている情報発信がなされた。 ●平成30年12月19日・20日（水・木）：森林総合科学科・上原教授による兵庫県立森林大学校で集中講義 上原教授の集中講義を学生は熱心に聴講し、兵庫県の森林行政の将来の担い手に、森林療法の観点からの動機づけに成功した。 ●平成31年1月16日（水）：兵庫県への就職セミナーの実施 セミナーでは、世田谷キャンパスでは6名の学生が参加し、厚木キャンパスの学生は3名が参加した。兵庫県農業の概要、兵庫県職員採用試験、兵庫県の移住・定住施策や「e-県民制度」に関する情報提供の良い機会となった。		
課題・改善点	兵庫県、本学校校友会兵庫県支部、本学エの連携により、農・林・食品・醸造等に関する本学の特性を生かした活動が推進できた。今後も本学と兵庫県との双方向の関係づくりを推進しつつ、連携を確実なものとする活動を継続していきたい。		

平成30年度 地域連携活動報告書

協定締結日	2017/4/24	連携先名称	兵庫県
活動状況	終了	連携先窓口	—
活動資金	—	担当教員(所属)	上原巖（森林総合科学科）
活動体制（単位）	—	関連教員(所属)	—
活動内容	平成30年12月19日、20日に兵庫県立森林大学校で講義と実習を行った。 【平成30年12月19日】 森林林業技術センター講堂 森林療法①（概要）90分 森林療法②（コミュニケーションスキル）90分 【平成30年12月20日】 森林林業技術センター栗園 森林療法③（植生調査）90分 森林療法④（景観施業）90分		
活動成果	実習2日目 林内の枯損木を倒し、倒木を玉切りしました。雑然とした林分林床を整備。丸太運搬した。整備で出たスギ、ヒノキなどの枝葉も活用し芳香水を作った。		



平成30年度 地域連携活動報告書

協定締結日	2017/4/24	連携先名称	兵庫県
活動状況	継続中	連携先窓口	—
活動資金	学生個人及び実習先の支援による	担当教員(所属)	穂坂賢（醸造科）
活動体制（単位）	学科	関連教員(所属)	—
活動内容	醸造科学特別実習実習先		
活動成果	兵庫県姫路市の壺坂酒造（株）に2名の学生の実習受け入れ及び実習指導を頂いた。（平成30年12月10日～12月21日）		
課題・改善点	醸造科学科では、醸造科学特別実習で実習先として、1～3社実習の受け入れ及び実習指導を頂いている程度で、その他の活動については把握していないのが実情である。		